

恒例の大阪支部主催の「実践交流会&講演」のご案内です。昨年度は上地安昭先生をお招きし、教師だからこそできるカウンセリングや教育相談について学びました。今回は「他者貢献できる人づくり」と題して、藤森平司先生にお越しいただくことになりました。昨年、藤森先生のお話を聞く機会があり、是非、大阪に来て多くの教育関係者のみなさんにも聞いてもらいたいと切望したところ、快く講演を引き受けていただき本当にうれしく思っています。人間にとっての他者とのかかわりはどういう意味を持つのか、具体的な実践はもとより文化人類学や脳科学な視点もふくめてのお話をお聞きしたいと思います。ピア・サポートの大切さを異なった視点から実感できることと思います。是非、お知り合いをお誘いいただき、ご参加いただきますようお願いいたします。

大阪支部長 菱田準子

日時 2013年3月30日(土) 午後1時～5時

場所 市民交流センターひがしよどがわ

〒533-0031 大阪市東淀川区西淡路 1-4-18  
電話：06-6321-3816

【最寄駅】JR 東海道本線「新大阪」東口 5分。

内容 1:00～ 実践交流会

オーストラリア海外視察の報告 他

2:00～ 講演 「他者貢献できる人づくり」

新宿せいが保育園 藤森平司 園長



お話をいただけることに感謝!



～藤森平司先生のご紹介～ ブログ「臥竜塾」を毎日更新されています。

大学でオープンスクール型学校建築を学ばれ、卒業後は小学校教員となり、その後、建築と教育の専門性を活かして保育園を設立。自立できない子どもや他の子どもと上手に関われない子どもの存在から「関係性発達」をキーワードに「環境」を通した乳幼児期の教育と養護を提案。子ども自ら働きかける人的環境(子ども同士のかかわり)、物的環境(子どもの興味関心を引き起こす遊具教具)、空間的環境(子どもの発達に合わせた空間づくり、ゾーニング)を整え、子ども同士が発達を促し合い、生きる力を身につける「21世紀型保育」を提唱。2002年に保育環境研究所ギビングツリーを立ち上げ「MIMAMORU」(見守る保育)という考え方を全国・世界に発信。保育園幼稚園はもとより学校や行政、企業からも注目され、日々、多くの関係者の新宿せいが保育園を訪問。

【主な著書】

「「まなび」のデザインー「自立」と「人と関わる力」が育つ・見守る保育環境」「情報による子育て支援」「21世紀型保育のススメ」「やってあげる保育から見守る保育へ」「さんすうのはじまり・こくごのはじまり」「保育としての「食育」」 他多数

<参加申し込み>

◆次の①～③を記載し、メールもしくは郵送(はがき)にて申込みください。

[hisyanade@gmail.com](mailto:hisyanade@gmail.com)

〒564-0053 吹田市江の木町12-66, 503 「実践交流&講演」係宛

① 名前 ② 所属 ③ 会員・非会員・学生

※日本ピア・サポート学会大阪支部のホームページから簡単に申込みを行うことができます。

尚、参加費は当日会場で徴収します。さらに、藤森先生をまじえて終了後は懇親会も予定しています。当日希望者を募ります。

